

2024年5月9日

2023年度「多摩地域市民活動公募助成」事業実施報告書

団体名: 押立車返ささえあい協議会

代表者・役職名 氏名: 会長 飛澤 明夫

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 助成プロジェクト名

子どもの居場所をつくる子ども食堂の開催

2. 団体の概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

府中市による協働の働きかけにより、社会福祉協議会が主体となって、押立町地域の約5,000世帯を対象とした町会・自治会などの既存の組織には属さない住民も参加できる新たな地域コミュニティをサポートする団体を2016年6月に設立した。現在8年目を迎え活動に携わる会員は48人、単発イベントのボランティアスタッフは80人ほどになっている。

3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

長引くコロナ感染症の影響、そして光熱費や物価の上昇を受けて、ひとり親家庭等へのフードパントリー申し込み者が増えており、家計に占める食費の減少を訴える方が増えています。
また外出や会食の機会が減っており、学校給食の際の「黙食」も続いていて、子どもたちを取り巻く『食の環境』が改善されていないという問題があると考えます。
これを踏まえて、子どもたちが会話をしながら楽しく食事できる場を提供し、『地域での子育て』を促進することを目的とします。

4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

- ・原則月1回の子ども食堂開催と学校休業期間中などのイレギュラー開催。
- ・親子で参加できるイベントの開催(バーベキュー、お菓子づくり、お楽しみ会)での食事の提供。
- ・地域の寺子屋(学習支援会)での軽食の提供。
- ・保護者との懇談で、生活上の困りごとなどの相談受付。

5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

毎月一回の定期開催と学校休業期間中のイベントを合わせて17回開催しました。参加者総数は子ども588人、おとな182人の合計770人でした。思いのほかおとな(保護者)の参加が多く、親子で外食、といった感じで参加した方も多いようでした。様々な要因で、なかなか親子で外食ができない家庭にとっては良い機会が出来たようです。開催回数が進むにつれて参加者が増えてきており、2024年4月の開催時は63人と最多を記録しました。
このように地域の子ども食堂として認知され、開催ごとに地元小中学校3校からも保護者宛での開催案内をメール配信してもらったり、自治会掲示板にチラシを掲示してもらったり、地元高校生がボランティアスタッフ参加してくれたり、各方面にて協力をいただいております。
参加者した親子との関係性も出来てきており、学校への登下校時などに声を掛け合えるようになっていたり、日常での困りごとの相談を受け、関係機関に紹介したりできています。
ボランティアスタッフは延べ206人で、開催ごとに10人以上が参加してくれ、スムーズに開催できています。

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

現在、公共施設の講堂や調理室を予約して開催していますが、会場確保が一番の課題となっています。参加人数が増えるにつれて、会場の規模など含めて検討していく必要があります。参加者へのアンケートからメニューの考案や、待ち時間の過ごし方などの検討もあります。今年度、真如苑さまからの補助金で子ども食堂初年度の活動が出来たことにより、2024年度は東京都からの補助金をいただくことが出来ました。おかげさまで継続して開催することが出来ますこと、感謝申し上げます。年間を通じての開催のため、イレギュラー開催もあり、今後お願いすることがあれば、子ども食堂補助金の申請をさせていただこうと考えております。

7. 参考資料：プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等の現物またはコピー、活動状況の写真などを、「必ず」、別途、ご提供ください

・地域タウン誌「月刊くろすと一く」2023年6月号誌面画像ほか活動写真



OKS主催 第1回子ども食堂開催

4月30日(日)、押立文化センター2Fの調理室で押立・車返ささえあい協議会(OKS88)の子ども食堂チームによる子ども食堂の1回目が開かれた。子どもは無料で、大人は300円で提供している。「子どもたちが集まってワイワイ楽しくカレーを頬張る姿を見てうれし

くなる」と語るチームリーダーの牛尾享子さんの30食限定の予約制で案内を出したところ即日埋まるほどの盛況ぶり、子どもたちの関心の高さがわかる。食事をする前に集まった子どもたちはスタッフたちと将棋やオセロゲーム、お絵かきなどで遊び、帰りにはお土産



カレーライスサラダデザートも



受付風景



将棋やトランプを楽しむコーナーもある

稲城手づくり市民まつり2023

五月晴れに恵まれた5月4日(木・祝)、5日(金・祝)の2日間、稲城市の城山公園広場でGW恒例の「稲城手づくり市民まつり2023」が開催され会場には大勢の観客が訪れた。

特設ステージでは鼓楽による「太鼓」のパフォーマンスやいなぎ藍の風による「よさこいソーラン」の演武、キッズダンスなどが披露された。

会場を囲むように、地元の飲食店やキッチンカーなどを出店し、来場者とのコミュニケーションを楽しむなど、手づくり感があふれる優しい雰囲気会場を包んだ。市民による大規模なフリーマーケットも復活、思い思いの品を見つけては大いに盛り上げをみせた。



人混みのキッチンカーには行列が

鼓楽による太鼓パフォーマンス

いなぎ藍の風による「よさこいソーラン」演武

産を手にして次回の開催を楽しみに会場を後にした。

こいのぼり by 上谷戸親水公園

4月29日(土・祝日)～5月6日(土)、上谷戸親水公園(上谷戸緑地体験学習館)でこいのぼりが掲揚された(主催：坂浜自治会・水車の会)。約200匹のこいのぼりが晴れ渡った黒月の大空をゆったりと舞い踊って訪れた見物客を楽しませていた。



約200匹のこいのぼりが晴れ渡った黒月の大空をゆったりと舞い踊って訪れた見物客を楽しませていた。

 押立・車返ささえあい協議会

みんなでワイワイ！おなかいっぱい。

子ども無料
高校生まで無料

子ども食堂

押立ホッとすぺーす

子どももおとなもみんなでワイワイが楽しい。

子どもがひとりでも安心してくることのできる食堂です。

ひとりぼっちでのごはんを少しでも減らし、

あたたかいごはんをおなかいっぱい食べることができます。

地域の中で安心できる居場所づくりを目指します。

令和5年

9月26日(火) 17:30～19:00

17:15～押立文化センター2階 会議室 にて受付

※事前申込制です。上記QRコードから申し込みください。(定員35人)

※アレルギー対応はしてありません。ご了承ください。

※食事スペースが混みあっている場合には、お待ちいただくことがあります。

メニュー予定：煮込みハンバーグ、ごはん、サラダ、デザート

主催：押立車返ささえあい協議会

※この活動は、真如苑市民活動公募助成金を活用しています。

